

日本プロレタリア文学集・20



フロレタリア文学集・20

旗
ナツプ
作家集
7

日本プロレタリア文学集・20

「戦旗」「ナップ」作家集(4)

定価 二六〇〇円

一九八五年三月二十五日 初版

発行者 松 宮 龍 起

発行所 株式会社 新日本出版社

〒150 東京都渋谷区本町一の八の七
電話 〇三三〇一七一一
振替 東京 三一三六八一

印刷所 光陽印刷株式会社
製本所 みさと製本印刷株式会社

落丁・乱丁本がありましたらおとりかえいたします。
本書の内容の一部または全体を無断で複写複製（コピー）して配布することは、法律で認められた場合を除き、著作者および出版社の権利の侵害になります。小社あて事前に承諾をお求めください。

日本プロレタリア文学集・20

「戦旗」「ナツプ」作家集

(七)

目次

手塚英孝	虱
生江健次	過程
黒江勇	省電車掌
五十公野清一	自作農
	109

秋……………一三五

北川冬彦

レール……………一四三

秋田雨雀

東方青年……………一五五

久板栄二郎

ヤンガア・ジエネレーション……………一七五

長沢 佑

部 署……………一八一

真鍋元之

秋祭り……………二三三

佐野順一郎

縊死……………二四三

阿蘇弘

慰問金……………二六九

佐々木一夫

発端……………二八五

早魃ののち……………三〇五

銘康雄

万歳……………三二五

橋本幸吉

夫……………三三三

田中英士

三日兵……………三六九

江口 渙

彼と彼の内臓……………三六三

非常時母の会……………三八八

三等車……………三九六

人生の入り口……………四〇四

掌編・壁小説集

オルグ二人……………村山知義・四三九

若い者等の権利……………立野信之・四一

今度こそ……………片岡鉄兵・四三

差入れ競争……………細田源吉・四七

テガミ	小林多喜二……四〇
父帰る	小林多喜二……四三
争われない事実	小林多喜二……四五
帝国主義デマ	徳永直……四七
世話役	徳永直……四〇
組合葬	橋本英吉……四三
養魚場	宇知田虚吉……四四
防備隊	黒島伝治……四八
伝 単	藤沢桓夫……四〇
疵	小林多喜二……四三
シヨール	徳永直……四四
つぶし島田	細田民樹……四七
元 日	谷口善太郎……四九
明るくなった家	村井 創……四一

遺族	加藤政吉……四八五
慰問袋	山田清三郎……四九〇
級長の願い	小林多喜二……四九三
チチハルまで	黒島伝治……四九四
弟	小野康介……四九六
妹の手紙	丸山義二……四九八
労働者倶楽部	貴司山治……五〇〇
百姓鑑	細野孝二郎……五〇三
除隊	上野壮夫……五〇五
雪の朝	堀田昇一……五〇七
とも喰い	本庄陸男……五〇九
おれ達の代表	山内謙吾……五一二
印刷局証券課では	那珂孝平……五二三
名勝地帯	黒島伝治……五二六

ふんどし通信	高林太郎	五八
ある老職工の手記	郷利樹	五二
前夜	本庄陸男	五三
メーデーへ	徳永直	五五
出征送別会	高見順	五七
ビラ	安瀬利八郎	五〇
演習	南田喜一	五三
ラッパ	小松義雄	五五
公主嶺にて	那珂孝平	五八
父	貴司山治	五〇
父と裁判	中村鬼十郎	五三
「凱旋」	堀田昇一	五八
汗	小松義雄	五〇
ピオニールの加勢	藤村潤	五五

お菜のない弁当……………本庄陸男…五五

朝　　会……………山　　本　　繁…五〇

組合旗を折る……………永　　崎　　貢…五四

出征前に……………青　　井　　要…五六

市電爭議と円タク……………武田麟太郎…五八

焼　　芋……………立野信之…六一

部落の夜……………長　　沢　　佑…五三

義雄の「お正月」……………徳　　永　　直…五五

庄五郎おやし……………谷　　口　善太郎…五〇

銃　　殺……………谷　　口　善太郎…五四

バ　　ッ　　ト……………永　　崎　　貢…五七

兵士委員会……………今井兵一…五〇

救援耕作……………江　　口　　渙…五四

河　　原　　で……………永　　崎　　貢…五八

解 説 佐藤 静 夫 五九

発表年月日と掲載文献 六七

手塚英孝

